

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、15名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】

埼玉県がケアラー条例を制定、狭山市の取り組みは 衣川 千代子 (日本共産党)



録画配信の
2次元コード

◆ケアラーのうち、ヤングケアラーについて

①厚生労働省は、家族やきょうだいの世話、家事労働など、本来大人が担う役割を日常的にしている18歳未満の子をヤングケアラーとみなすとしている。市は実態把握をしているのか。
②相談窓口や支援策はあるか。
③支援を深めるための周知や啓発についての計画はあるか。

学校教育部長 ①これまで教育委員会や学校ではヤングケアラーの実態把握に特化した調査は行っていない。調査を行うにあたっては、各家庭でのプライバシーに十分に配慮することが必要であり、ヤングケアラーに特化した調査をするのかなど、関係機関と連携して慎重に研究する必要がある。

福祉こども部長 ②ヤングケアラー専門の相談窓口は設置していないが、現在、学校、家庭児童相談室や総合子育て支援センターや子育てプレイスなどの地域子育て支援拠点施設ほかで相談を受けることが可能である。また、子どもには登校支援や学習支援を行うなど、家庭の状況に応じて必要な支援につなげている。

③埼玉県ケアラー支援計画のケアラー月間で開催予定のフォーラム及び研修への参加や、リーフレットを活用した啓発活動など、関係機関との連携を図り一層の周知啓発に取り組む。



その他のテーマ▶地域公共交通、デマンド交通について

入曽整備、自治会での説明会の賛成者は地区人口の1.5% 猪股 嘉直 (日本共産党)



録画配信の
2次元コード

◆住民の声より、鉄道事業者の声を優先

駅の現改札口を無くすことは、住民の利便性より、鉄道事業者と市の考えを優先している。事業について住民に丁寧に説明し、理解を求めるといふ矛盾していないか。

都市建設部長 駅の現改札口を残すこととした場合、現在の駅周辺のリスクである狭隘な道路に車両が集中し、歩行者などの危険な状況が解消できないことなどについて、市民の皆様丁寧に説明し理解を求めていきたい。

◆橋上駅舎と東西自由通路の見直し

入曽停車場線を歩行者優先の道路にし、現改札口と茶農協跡地に造る広場と結ぶ計画は。

その他のテーマ▶入曽自治会関係者が入曽駅の現在の改札口残しの要望書 ▶笹井堰は利水・治水に重要な施設

都市建設部長 入曽駅周辺が抱える市街地の分断などの課題を解決するためにも、東西自由通路及び橋上駅舎を整備する必要があると認識しており、現在の計画により事業を進めていく。

◆笹井堰と狭山市

笹井堰は老朽化が進んでいるが、狭山市ができることは。

環境経済部長 大規模改修などが計画された際には、本市を含め、国や県との協議を経ながら、必要に応じて国や県に要請してまいりたい。



第二用水組合が
管理する笹井堰

活力ある魅力的なまちづくりの推進 千葉 良秋 (自由民主党)



録画配信の
2次元コード

◆地域課題の的確な把握

少子高齢化に伴い、人口は減少の一途をたどり、地域のコミュニティや自治会の活動などに支障をきたす事態が発生しているが、地域や人々の現状をどの様に捉え、活性化するための課題がどこにあると考えているか。

総合政策部長 地域産業の衰退や雇用機会の減少、地域の担い手不足により、地域のにぎわいの



活力ある
まちづくり

その他のテーマ▶安定した雇用の創出 ▶結婚、出産、子育ての支援 ▶安心して暮らせる地域を創る

喪失を懸念している。地域産業の支援や若い世代の移住・定住を促進し、人口減少や少子高齢化を抑制することが必要であると考えている。

◆親元同居・近居世帯への減税措置を

親元同居・近居支援は、転入する若い世代に魅力的な制度となっているが、その制度を知らない若い世代も多くおり周知の必要を感じるが、どのような工夫をしているか。また、同居や近居による家族の支えは、高齢者や孫の世話などに大きなメリットがあり、同居した世帯への減税措置なども考えてはどうか。

総合政策部長 周知については、市の公式ホームページや広報さやまへの掲載、不動産事業者や住宅展示場、金融機関などに案内チラシを配布している。減税措置については、固定資産税の減免を実施している自治体の状況を確認のうえ実施の効果について研究していく。

智光山公園から考えるゼロカーボンシティ実現に向けて 福田 正 (改進黨)



録画配信の
2次元コード

◆緑地や緑地の保全活動が果たす役割

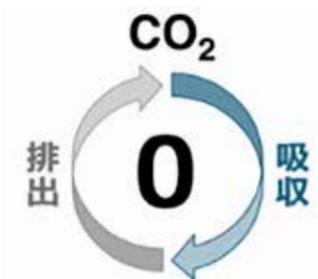
①広義な意味での智光山公園の山林が果たす役割と、カーボンオフセットの考え方は。

②今年2月、狭山市をはじめとするダイア5市で、2050年までに二酸化炭素(CO2)の排出量実質ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言を表明したが、その中で森林の整備保全・活用がうたわれている。二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林などの吸収源による除去量との均衡を達成することで、カーボンニュートラルを目指すものであるが、当市における二酸化炭素量の吸収源となる緑地保全活動の考え方は。

環境経済部長 ①カーボンオフセットとは、日常生活や経済活動を通して排出される二酸化

炭素などの温室効果ガスについて、排出量を削減しようと努力しても削減できない部分に対して、緑地の保全などの削減活動などを通じて排出される温室効果ガスを埋め合わせることを言うが、智光山公園を含めた市内の緑地は、二酸化炭素の吸収源としてその役割を果たしている。

②緑地には、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を抑制するなどの多くの機能があり、二酸化炭素の吸収源としての機能を十分に発揮させるためには、今後、成長した樹木を伐採し、使って、植えて、育てる循環利用の視点も踏まえて、緑地を適切に維持管理していくことが重要である。



カーボンニュートラルな狭山市へ

ここに掲載していない一般質問の質問の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページでご覧いただける方は、FAXか郵送でお届けします。議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313